

はしど

平成29年 4月28日
学校便り 第2号
練馬区立橋戸小学校
校長 河崎 晃二
<http://www.hashido-e.nerima-kyo.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

「橋戸」の歴史

校長 河崎 晃二

新学期が始まってから、ひと月が過ぎました。子供たちは、新しい学校生活にも慣れてきました。一年生も「一年生を迎える会」を終え、すっかり橋戸小学校の一員になりました。

さて、橋戸小学校は、今年度で開校40周年を迎えます。6月17日には、記念式典を行います。現在は、記念誌の作成に向けて、写真撮影や、原稿をそろえているところです。ここで、なぜ「橋戸」という名前がついたのか調べて分かったことがありますので、皆様にお知らせします。

この辺りは、江戸時代から明治の中ごろまで橋戸村といっていました。ほとんどが幕府直轄の村ばかりでしたが、橋戸村は私領で、忍者服部半蔵率いる伊賀組の給地でした。地名の起こりは、村の開発者が八戸あったからとする説もありますが、白子川の地形がつくる「端の瀬戸」からという説の方が妥当のようです。

橋戸村は、明治の頃は埼玉県新座郡に属していました。明治22年に小樽村（こぐれむら）と合併し、埼玉県榑橋村（くれはしむら）となり、一度「橋戸」という名前はなくなりました。しかし、2年後の明治24年に埼玉県から東京府へ編入し、大泉村大字橋戸となり「橋戸」の名前が復活しました。

昭和7年の市郡合併で板橋区になったとき、大泉村は東・西・南・北大泉町と大泉学園町の五つに分かれました。そして、旧橋戸村は北大泉町と呼ばれ、また「橋戸」の名前が地名としてなくなり現在に至ります。

学校においては、明治7年に教覚院（現在は教学院一北大泉町）に橋戸小学校が開校しました。その10年後、村の合併とともに学校名が改名され場所も変わりました。

明治24年に東京府に編入したときに、また合併し学校名も泉小学校となりました。（現在の大泉小学校のある場所）

明治31年に泉小学校の分教場として泉小学校橋戸分教場ができ、「橋戸」の名前が復活しました。（現在の大泉第一小学校のある場所）しかし、昭和21年には、板橋区立大泉第一小学校として独立し、再び「橋戸」の名前がなくなりました。

そして、人口の増加にともない新しい小学校が必要となり、昭和52年に現在の橋戸小学校が誕生しました。

地域の歴史を調べてみて、改めて「橋戸」に対する先人の願いや思いを知ることができました。そして、私達は、この地域を愛する子供たちの育成に努めていきたいと強く思いました。



